

つどい

第6号

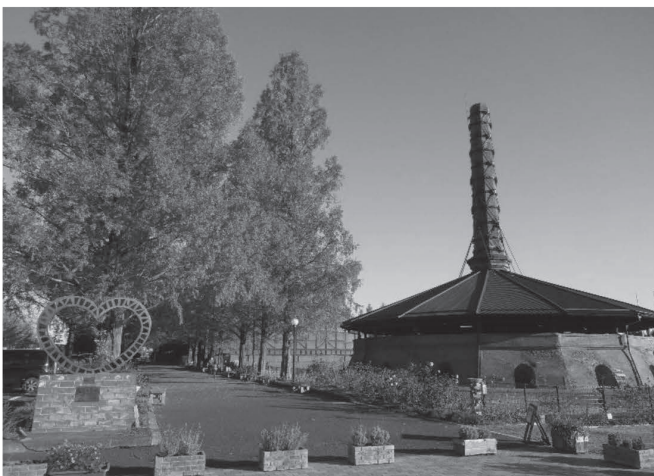
発行日：令和4年5月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第6号」でお届けしますのは、概ね次のとおりです。

- 「野木ホフマン館」の近況・事業
- 野木町煉瓦窯のおはなし その⑥
- 自然豊かな渡良瀬遊水地 その⑤

【ホフマン館の近況と事業】

昨年度は、新型コロナウイルス感染対策で町の公共施設同様に一定期間ではありますが、ホフマン館も休館、野木町煉瓦窯の見学休止等もあり、さらに事業計画のイベント、各種講座・教室の開催に影響を受けました。本年度も昨年度に続き「煉瓦窯春フェスタ」は中止になりました。煉瓦窯見学・各種講座・教室等については、対策を講じながら実施できるよう努力し、また、新型コロナウイルスの収束を願っています。ホフマン館のバラ・紫陽花等が見ごろを迎えます。見に来てはいかがでしょうか。



ホフマン館は本年度も多くの各種講座・教室を開催しています。ご参加・ご応募お待ちしております。詳細は町広報をご覧ください。なお、ご希望の講座・教室が定員に達している場合にはご了承ください。

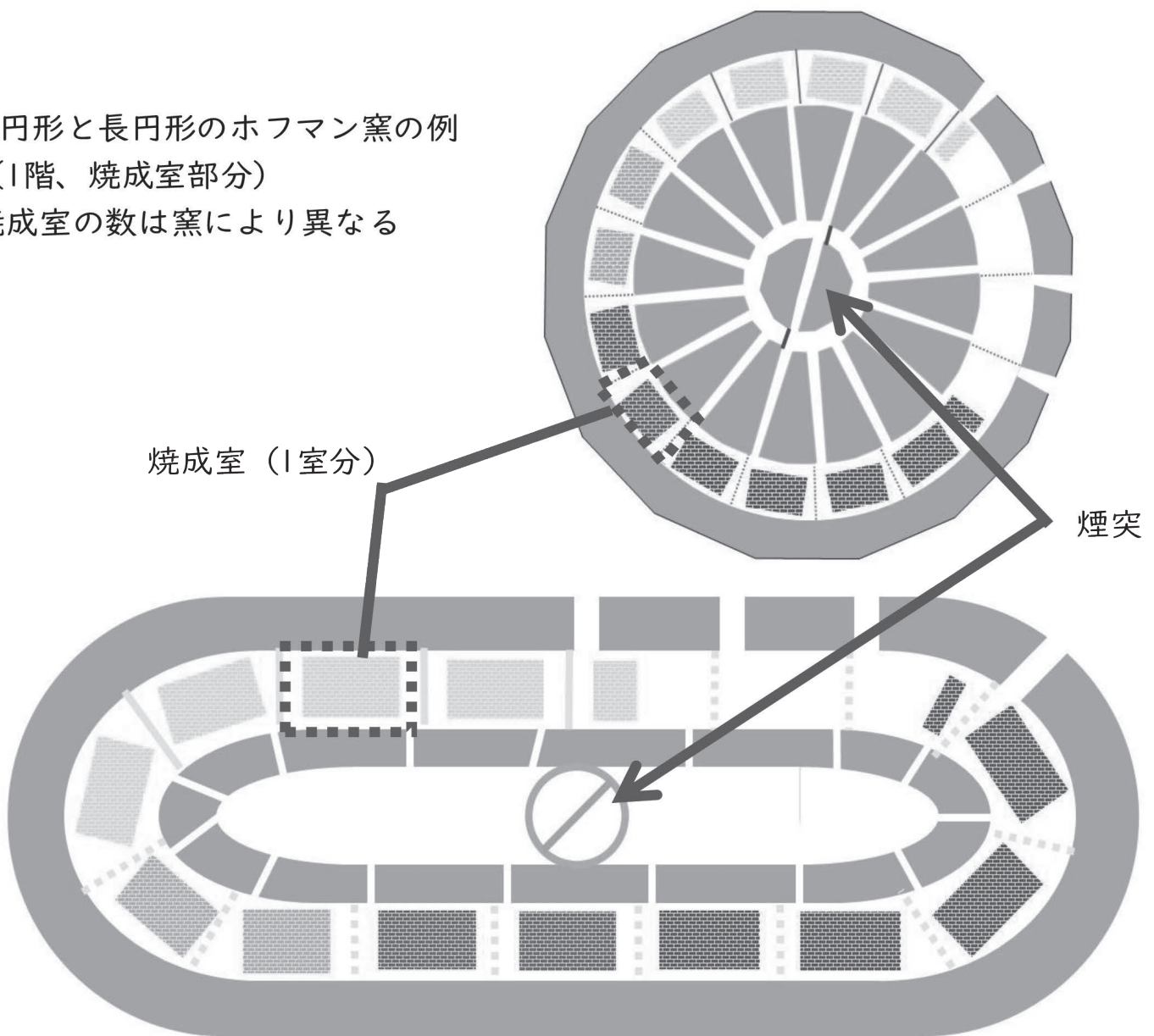
- ◆陶芸教室・・・食器や花器などを自由に制作しながら焼物の基礎が学べます。
- ◆コンテナガーデン教室・・・古い板を再利用しコンテナを作り、植物を育てます。
- ◆歴史講座・・・野木町に関わる歴史などのお話や体験講座を行います。
- ◆このほかに渡良瀬遊水地での植物観察会・野鳥観察会などを計画しています。

野木町煉瓦窯のおはなし その⑥

野木町煉瓦窯を真上から見ると16角形ですが、ホフマン窯には別の形もあります。日本に現存するホフマン窯4基のうち、野木町煉瓦窯を除く3基は、陸上競技場のトラックのような長円形をしています。長円形のホフマン窯は改良されたもので、煉瓦の焼きむらが比較的少なく、敷地を節約できるのが利点です。

野木町煉瓦窯は、日本のホフマン窯では唯一原形を留めて保存されており、初期の円形ホフマン窯の形を残している貴重なものです。

円形と長円形のホフマン窯の例
(1階、焼成室部分)
焼成室の数は窯により異なる

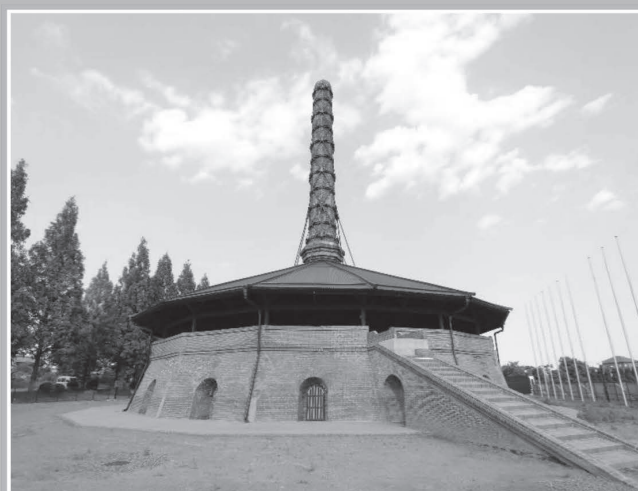


日本に残るホフマン窯

※安部恒夫氏(野木町煉瓦窯を愛する会)写真提供



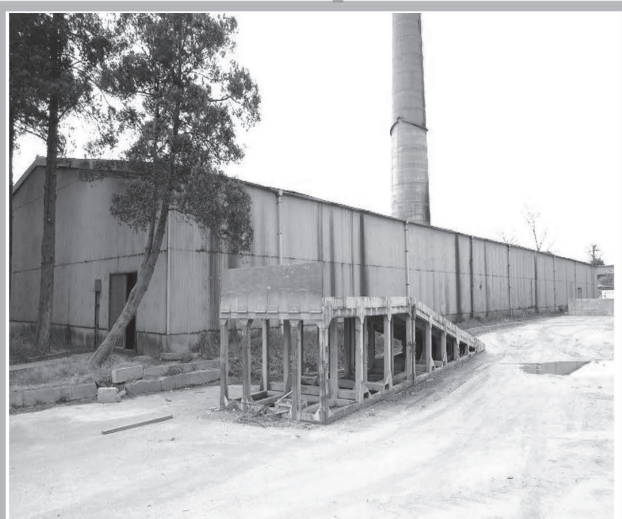
※神崎コンクリート株式会社
旧煉瓦窯 (京都府舞鶴市)



野木町煉瓦窯 (栃木県野木町)



※旧中川煉瓦製造所ホフマン窯
(滋賀県近江八幡市)



日本煉瓦製造会社旧煉瓦製造施設
ホフマン輪窯六号窯
(埼玉県深谷市)

自然豊かな渡良瀬遊水地 その⑤

渡良瀬遊水地の造成 ～遊水地化事業～ 囲繞堤を作り調節池

昭和になってからも大きな洪水（10年、13年、16年）が利根川流域を襲いました。この洪水では堤防決壊までにはいたりませんでした。従来計画流量を大幅に上回ったため堤防の拡幅や渡良瀬遊水地の調節池化等の計画が見直されました。しかし、戦争のため事業はほとんど進みませんでした。復興もままならない昭和22年9月にカスリーン台風が襲来し、関東・東北に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明者は全国で1,910人、被害者は164万人にまで達しました。渡良瀬遊水地でも加須市（旧北川辺町）、板倉町、栃木市（旧藤岡町）、小山市地先で堤防が決壊し、甚大な被害が生じました。カスリーン台風の洪水を契機に利根川水系でもダム建設、遊水地、河道拡幅等の新改修計画が策定され渡良瀬遊水地も自然遊水地を調節池化して洪水調節機能を増大させることや堤防拡幅が位置づけられました。（つづく）



参考文献
「水利科学」47巻3号
（足尾鉍毒事件と渡良瀬川
東遷）より

渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地の春の風物詩「ヨシ焼」、去年は天候不順の中止でしたが、今年は3月5日（土）に行われました。

遊水地に生育するヨシや貴重な植物などが「ヨシ焼」後に芽生え、すくすく育つ姿が見られます。渡良瀬遊水地の植物は、約1,000種類で、そのうち60種は絶滅危惧植物に指定されています。足を運んではいかがですか。

野木町交流センター

（野木ホフマン館）

開館日：火曜日～日曜日

9：00～18：00

（月曜日が国民の祝日の場合は
開館、翌平日閉館）

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎0280-33-6667